

# 立憲民主を代表して質疑。 小池都知事と直接対決！

## 決算審査特別委員会報告

東京都議会議員（立川市）

# 鈴木 烈

松下政経塾出身  
元国際企業経営者

昨年末の11月、「決算審査特別委員会」を締めくくる「全局質疑」において、私は会派を代表して30分の質疑に立ちました。3つのテーマについて質疑し、特にPFAS問題については知事に厳しく迫りました。

### 1 都財政について

#### 「東京都は緊縮財政!？」

私の長年の経営者としての経験を活かして都の決算資料を精査したところ、都は「収支均衡」と言いながら、毎年5,000億円程度（過去5年の平均値）の黒字を内部に留保していることが判明。都の自己資本比率（民間企業では、50%以上が優良とされ、100%に近づくほど借金への依存度が低い）は83%と超優良（大阪21%、愛知29%）。あまりにも多くの利益をため込みすぎて「緊縮財政」に陥っているのではないかと指摘。「減税するか、住民サービスを増やすべきではないのか」と質しました。財務局の答弁は「必要な施策にしっかり財源を投入しているから緊縮財政ではない」。客観的な数字による根拠を伴わ

ない精神論で、国と同様、都財政も大きく改革する必要があることが明らかになりました。

### 2 都の非正規公務員問題

#### 「都庁はブラック体質!？」

都教育庁は昨年、全体の17%にあたる250名のスクールカウンセラーを雇止めしました。マスコミにも大きく取り上げられたこの問題の本質は、非正規公務員の契約更新は満5年が限度という「5年ルール」にあります。国は昨年このルールの撤廃を発表し、都内の自治体の多くも廃止や見直しの方向です。

都の職員の3割は非正規、そして非正規の契約更新は5年まで。民間ではとても許されないブラック体質です。厳しく追及しましたが、5年ルール廃止の答弁は引き出せず。引き続き頑張ります。

### 3 PFAS問題

#### 「『首都防衛』はどこ行った?」

「地下水という都民の財産を守るべき」という観点から質疑しました。



PFAS汚染が広がる多摩地域では、多くの学校や病院で地下水を利用した専用水道が汚染され、水道水に切り替えた結果、年間数千万円単位の費用上昇に苦しんでいる事業者もいます。

地元立川市でも「長年使い続けた地下水がPFAS汚染で使えなくなった」という市民の方から、PFASが検出された検査証をご提供いただきました。

小池知事にこの検査証を示しながら「地下水という都民の財産が侵害されているが都はいつも国任せ。横田基地が毎年PFASの漏出事故を起こしているのに、直接の抗議も協議も行わない。小池知事の選挙スローガン『首都防衛』はどこにいったのか」と質しました。

小池知事は過去一度も議会ではPFASについて言及していませんので、今回も答弁には立たないと思いましたが、急遽挙手して答弁。翌月には都による横田基地立ち入りが実現。一步前進です。



## 東京都議会 緊急ニュース

## 都議会激震！自民裏金問題で議長が辞任。

東京都議会自民党は、1月23日に記者会見を開き、裏金づくりに関わった自民都議が26名いたことを公表。そのうち、6名の幹事長経験者については、次期都議選で非公認とすること、自民党所属の宇田川都議会議員につ

いては、議長を辞任することを発表しました。

裏金づくりが発覚したのは都議会自民党だけですが、都政全般の信頼に関わる重大な問題です。真相の究明と再発防止に取り組んでいく所存です。



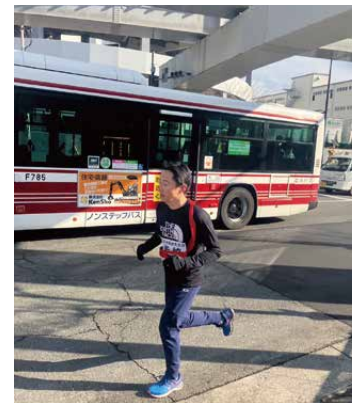
## 年末年始はたくさんの地元行事に参加しました。



▲不慣れだった餅つきも少しずつうまくなってきました！



▲消防出初式に参加。酒井市長とともに。



▲市民駅伝、町会対抗の部に柴崎町チームの第三走者として参加。

東京都議会議員 鈴木 烈<sup>れ</sup>  
(立川市)

- 1973年生まれ、現在51歳。柴崎町在住。
- 家族は、妻、娘(中2)、保護ネコ2匹。趣味は溪流釣り、ラジコンレース。
- 早稲田大学法学部卒業。慶應義塾大学大学院SDM研究科修了(社会人入学)。

## 【若き日の挫折】

住友銀行、松下政経塾、葛飾区議(一期)。32歳で区長選挙に挑戦するも次点落選。いったん政治の道をあきらめて、友人を頼り台湾へ(住友銀行では壮絶なパワハラに。区長選挙落選で1,000万円の借金を背負う。)

## 【ベンチャー企業経営者として成功、政治に再挑戦】

台湾でレストランを展開する台湾のベンチャー企業に参画。一度は追放されそうになるが、仕事の成果が認められて社長に就任。その後台湾全土および中国への事業拡大に成功。2016年にはCEOとして株式公開を実現。

2019年に帰国。2023年10月の都議補選(立川市選挙区)、旧知の酒井大史立川市長の後継者として立候補、91票差の僅差で当選。

七転び八起の人生だから、  
あなたの悲しみ、  
憤りに共感します。

